



幌延町広報誌

2018年 9 月号
(平成30年) NO.647

ほろのべの恋

祝幌延町
開基120年



▲第48回ほろのべ名林公園まつり 幌延ど真ん中踊り

- ほろのべ議会だより第105号
- 幌延町表彰条例に基づく表彰について
- 診療所だより
- 田川所長の医療漫談DVD『無料貸出』について
- 平成30年度エネルギー関連施設見学会



▲大人仮装盆踊り大会 団体の部優勝「千手観音」の皆さん



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第105号

発行 北海道幌延町議会
編集 議会報編集委員会
電話 01632-5-1111
FAX 01632-5-2971

第3回 幌延町議会 定例会 6月18日

幌延町議会定例会が6月18日に開催され、行政報告、一般質問、報告3件、議案5件を審議し、全会一致で可決し、終了した。
主な内容は次のとおり。

▽報告第2号

有限会社幌延町畜産振興公社の経営状況について
事業報告で、平成29年度入牧頭数は6百88頭で、前年度と対比して40頭の増加となっている。

決算内容は、営業収益6千4百66万5千円に対し、営業費用が6千4百29万1千円となり、37万4千円の経常利益となった。

平成30年度の事業計画では、草地利用が、6百70頭を予定し、平成29年度計画より90頭増を予定している。

▽報告第3号

株式会社幌延町トナカイ観光牧場の経営状況について

事業報告で、昨年度の入場者の数は、4万7千7百41人となり前年度と比較して、1万9千9百85人増えた。

収支は、営業利益2千1百12万6千円、営業費用は2千65万3千円となり、営業利益は47万3千円。その他営業外収益では、合計27万3千円あり、経常利益が、74万6千円となった。

次に平成30年度収益予算は、収支ともに2千15万4千円とし、収入の主なもの、トナカイ貸出3百万円。受託事業収入1千6百31万2千円などを見込んでいる。費用の主なもの、修繕料60万円、水道光熱費4百19万円、委託料1千2百14万円7千円などを予定している。

▽議案第3号

工事請負契約の締結について

平成30年度施行医療技術職員住宅建設工事。

契約の方法は、指名競争入札で、契約金額は6千8百4万円。建築工事の概要

は、木造2階建、1棟4戸。延べ床面積2百70・37平米で、平成30年12月12日までの工期である。

行政報告―町長

○幌延町移住情報PR支援センターの運用開始について

昨年度から改修工事や条例制定等準備を進めていたが、5月1日に運用を開始した。開設当日には、JR北海道旭川支社の島支社長をはじめ、幌延町長、町議会、町観光協会、町民の皆様にご臨席をいただき、無事、開設式を挙行できた。

本センターは、JR北海道の協力のもと、幌延駅の一部を借りて、移住に関する相談及び支援、また観光案内や町民乗車票の販売等を行うもので、これらの取り組みにより、移住者受け入れ体制の充実や、まちの賑わい創出を図っていきたい。

○幌延町観光大使について
幌延町観光大使として、平成27年4月27日から3年間の任期で幌延町の観光振興に尽力をいただいております。また井上仁志氏に再度、平成30年度5月1日から3年間の任期で幌延町観光大使を委嘱した。



情報PRセンターで働く地域おこし協力隊員

教育行政報告―教育長

○学校教育

平成30年度町内小中学校の学級編成、児童生徒数及び教職員数について、小学校2校で13学級、児童数1百26名。中学校は2校で7学級、生徒数53名となっており、4校の合計では、20学級1百79名となり、教職

員数は前年度と比べ1名減の40名となっている。

指導体制については、新学習指導要領の実施に向けてた意向処置による小学校3、4年生の外国語活動や5、6年生の英語科の授業数増に対応するため、2名のALTと新たに幌延小学校に学習支援員を1名配置し、今年度も特別支援教育支援員を幌延小学校に2名、心のサポート相談員を幌延中学校に1名配置し、学習支援や生徒指導の実施を図っていく。

問寒別中学校2年生の遠藤芽衣さんが第42回全国児童生徒木工工作コンクールで、全国2万5千2百20点の作品の中で、見事に中学生の部で入選を果たした。



地域の課題をとらえて

3氏が一般質問



高橋 秀之

- ・人口減少について
- ・選挙公約について

人口減少について

質問 人口減少を前提とした対策を今まで以上考えていなければ減少は押さえられないと思うが。

町長 早急に手を打つ課題だと認識している。今まで注ぎ込んできた投資の部分も芽が出れば、雇用の場も増えるが、人手不足の課題も大きく、二つあわせて今後考えていく。

質問 高齢者の経験を活かす、就労を続ける仕組みを創るため、シルバー人材センターの設置を考えては。

町長 拠点、柱になるところを見据えて、シルバー人材センター運営をしていかなければならない。そこから前へ進めなかったのも現実であり、健康で元気に動ける働き場として必要であると考えている。

質問 創生人口ビジョンの52年の目標人口の数値を見

直さない考えてよろしいのか。

町長 5カ年計画を立てた以上、平成31年度末までは目標数値は変えないし、そこに投資をし、雇用の場の確保、経済の活性化を図っていききたい。

質問 平成28年度末では、出生率1.84と増加しているが、出生数の増加に至っていない。自然増減や転出の傾向を分析して、人口目標を設定したのか。

町長 計画策定時点で立てた時の人口で2.07の出生率でいけば、達成できるだろうという希望的数字だった。

質問 以前、企業誘致について早急に条例、規則を作り、進めようとしていると答弁があったが、現在の進捗状況はどうなっているか。

町長 固定資産税減免の措置等を作って、いままで作

ってきたものと併せてPRできると感じている。

選挙公約について

質問 地域トークの開催で、平成27年度の答弁で今年中に計画を立て、少しずつ進めるとあるが、今はどのように取り組んでいるか。

町長 もっとフレンドリーに小さなサイズの関係機関と砕けた形でトークができるようになれば最高だと思った。

質問 特産品の開発促進を早急にお願したい。

町長 個人、民間で進められるのであれば、どんな形でお手伝いできるのか考えていく。

質問 任期中に達成できない公約が沢山あると思うが、2期目を目指す考えはあるのか伺う。

町長 秋まで全力で公約の施策を進めていく。最終決断は、後援会の皆様方に相談をさせていただきながら、前向きに次期選挙に向けて体制を築けるように頑張っていく。



町長 驚見 悟

・深地層研究センターと風力発電等の環境問題について

深地層研究センターについて

質問 ▶ 研究期間を「およそ20年程度」としているが、非公式な協議もないのか。

町長 ▶ 現時点において、日本原子力研究開発機関、国、北海道との協議は行っていない。

質問 ▶ 5百メートル以深の工事要請はどうなっているか。

町長 ▶ 当初計画にある要請のままである。

質問 ▶ なかなか難しい状況になっていと思うが。

町長 ▶ 着実に進められるようにお願いしている。

質問 ▶ 地層処分調整会議ではNUMOの意向によるという言い方をしているが。

町長 ▶ 原子力機構の計画に基づいて計画と事業を毎年報告している。国に関しての話ではないか。

質問 ▶ 深地層の問題も過去に調査委員会というものを

議会で作り、10ヵ月程の議論をしたが、平成31年末の原子力機構の案が出てきた段階で議論することになるのか。

町長 ▶ 私達は素人なので、その研究内容について、とやかく言及できることではなく、出てきたというところを判断することになるか、思っている。

質問 ▶ 平成31年3月で電源三法交付金は基本的に切れるが、今後どうするのか。

町長 ▶ 計画書が上がってきた中で、議会でも議論しながら、進めていくことになるか考えている。平成32年度までは研究期間の中にあると考えている。

風力発電について

質問 ▶ 2件の小型風車について、申請が出たが、建設が進んでいないようだが、どうなっているのか。

町長 ▶ 今、精査をしている。質問 ▶ 道北エネルギーの大型風車3千6百kWの送電網は、今までのオトンルイ風車と場所的に重なるが、一緒に送電できないのか。

町長 ▶ オトンルイの送電線は、あの電線の太さや電柱に限度がある。倍の電気を流すということになると無理がある。環境に影響のない地下埋設をすると聞いている。

質問 ▶ 中川町から稚内市までの送電網強化の工事は、新聞報道では5百億円、町の説明では、1千億円を超えるとの話だったが。

町長 ▶ 5百億円とは押さえてない。

質問 ▶ 過去のデータではそうなっている。送電網についても景観の問題が出て来ていると思うが。

町長 ▶ 景観上の問題や支障が出るようであれば考えていかなければならない。

質問 ▶ 景観や環境の問題は、価値観や捉え方の違いはあると思う。日本の場合、建ててしまったら、後で問題が出て来ても協議の対象にな

らない。住民合意を作るためには、行政の力が必要だ。町長 ▶ 環境省でも環境アセスメントを通じて、住民の

声や意見を反映させながら、話を進めている。議会との議論もさせていただく機会を作っていく。



町長 齋賀 弘孝

・深地層研究センターの処分技術の地下研究と町長2期目について

深地層研究センターの処分技術の地下研究と交付金の使い道について

質問 ▶ 宮本町長時代から、深地層研究に関連した研究施設や関連施設誘致を働きかけてきた進捗状況並びに、平成25年11月、野々村町長が議長時代に町長と当初の計画通り5百メートルまで掘削を要請したが、5年経った今も着手の見透しすら立っていない現状をどう感じ、改善させるのか。そして、残り3年を切った中でも、5百メートルまで掘って地域振興につなげる努力をどう続けられるのか。

町長 ▶ 深地層研究に関連する研究施設等の誘致について、

では、幌延深地層研究計画の着実な推進、5百メートル坑道建設と合わせ、前町長の時から引き続き関係機関に要望している。

また、町が人件費の捕捉、研究建屋取得による研究継続の側面支援を図る姿勢が評価され、補助金の減額を抑制できたことは、一つの成果と言える。ここでの研究成果が新たな研究機関の誘致につながる可能性が充分あり、まさに国、関係機関との連携の賜物である。

質問 ▶ 電源立地地域対策交付金の充当効果、今後の財源活用については。

町長 ▶ 年間1億5千万円程度交付され、地域医療に必

要な人材確保、子育て環境の整備、消防、救急体制の維持など地域住民の福祉向上に充てられた。人件費に充当することにより生じる一般財源のうち、6千5百万円を将来の地域振興に活用することを目的にふるさと創生基金に積立してきた。今後も電源立地地域対策交付金により生み出される一般財源を活用し、公共施設等の適正な管理と財源の健全化を進めたい。

質問 深地層研究センター所長による研究期間に対する発言で「19年度末までに研究終了までの工程やその後の坑道埋め戻しなどを含む全体計画を策定する予定がある」という発言についての町長の感想や意見はあるのか。

町長 第3期中長期計画期間の中の平成31年度末までにその工程について決定されることになっているので、それを踏まえての発言ではないだろうか。

質問 調査研究計画書に、研究を終えたと載ると、研究期間を延長すると載ると、

のでは違いがあると思うが。
町長 研究計画書は、期間中に実施される研究内容に関するものであり、中長期計画とは場面が違うと思っている。計画が出される前にお知らせをいただければ、事前に皆さんと相談できるだろう。

町長2期目について

質問 町長2期目をめざし、前向きに検討してください。

町長 私自身もこの秋までの期間、一生懸命仕事をさせていただき、次期に向けて皆さんに推していただけのような形で進めていきたい。



**第3回
まちづくり常任委員会
6月6日**

○調査事項

▽第5期幌延町障がい福祉計画及び第1期幌延町障がい児福祉計画について

質 昨今、障がい者年金の給付や障がい者の級の見直しという問題が出ている。町村では、どのようになっているのか。

答 まだ詳しくは分からない状況である。

質 本町において、障がい者年金を受けている人はいるのか。

答 障がい者手帳の級と障害の程度の基準が違うので、全て把握はしていないが、障がい者年金を受給できる方は100%受給されているものと思っている。

質 地域包括ケアシステムの構築について、共同設置に向けて協議を進めるといふことだが、本町の現状を踏まえると、単独で構築できると考えるが。

答 北海道として、圏域ごとで協議の場を設置したいという意向があったこと等もあり、本計画の中では、宗谷全体として、共同設置で協議していくという計画にする。

質 障がい児のデイサービスについて、数年前からセンターの人員も含め、その体制について課題となっていると思うが、解決に向けた話し合いは行われているのか。

答 明日、今後の体制のあり方、運営のあり方について、事務担当者レベルで協議する場所を設けているところである。

▽名林公園樹木診断について

以前より、議員並びに町内会の方々からいろいろな意見があった名林公園にある木々の対応等について検討した結果、「道立総合研究機構林業試験場」が開発した木々の腐敗状況を簡単に調べられる装置を用いて行うこととした。

診断費用は、装置の製品化に向け、多くのデータが

必要なことから、一切かからない。

名林公園の土地・立木竹については、国から無償貸付を受けており、危険木の伐採の可否について問い合わせたところ、所定の報告は必要であるが、問題ないとの回答を得ている。

質 伐採した木の処理はどうするのか。

答 ふるさとの森の樹木を伐採した際にも、希望する町民の方に無償提供していることから、町民の皆さんに還元したいと思う。

質 名林公園が寂しくなってきた。花の咲く木を植える等、何か考えているのか。

答 町民が楽しめる環境づくりを考えると、そういう樹種を植えてくのも方法かもしれない。今後検討していきたい。

質 名林公園は原始の森ということ、北海道でも有数の巨木がある公園だと思ふ。これは貴重な資料ではないか。樹木を維持することを踏まえた管理の仕方も必要であり、巨木を残す方



名林公園樹木

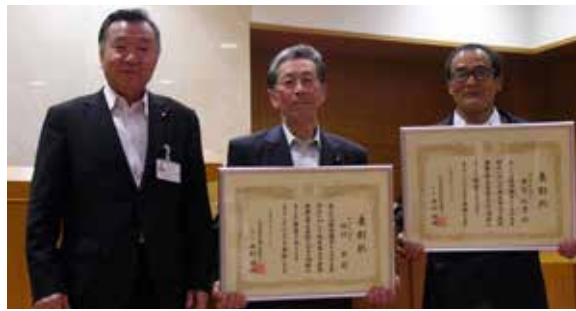
法も考えた方がいいのではないかと。診断結果が、すぐにも倒木の危険性がある木については、伐採しなければならぬが、何か手を加えることで、その木が安全に維持できるのであれば、木をもたすことも視野にいれて考えている。

北海道町村議会議長会から表彰

町村議会議員として15年以上その職にあった者を対象として、本町議会議員3名に北海道町村議会議長会から表彰状が授与されました。表彰状は、9月定例会前に議場において議長から授与されました。

受賞者は次のとおり。
植村議長、無量谷議員、齋賀議員。

(無量谷議員には後日、議長から伝達されました。)



左から野々村町長、植村議長、齋賀議員

国内では、7月、8月と猛暑が続いている。気温も40度を超える猛暑で熱中症になり救急搬送される方が続出した。まさに夏を乗り切るために熱さとの戦いになっている。私達の幌延町にも冬は豪雪、4月10日の雪、5月と6月10日の遅霜により、野菜や花などに被害が出た。イタドリは霜で枯れ、エゾカンゾウも今年は遠別町以北は咲かなかった。7月22日ま

編集後記

では、涼しい日が続く、それ以降は8月4日頃まで高温となり、幌延町で30度を超える日が続いた。その後、平年並みに戻っているが、「何だろう、今年は何」。小麦も冷害だと風のたよりで聞こえてくるが、なんとか牛さんだけは頑張って12月を迎えてほしい。

編集委員長 西澤 裕之
副委員長 鷺見 悟
委員 高橋 秀之
吉原 哲男

議会の動き



- 4月13日 ▶ 第1回情報推進常任委員会
- 4月13日 ▶ 第3回全員協議会
- 4月19日 ▶ 第35回議会報編集委員会
- 4月26日 ▶ 第36回議会報編集委員会
- 5月10日 ▶ こども議会
- 5月15日 ▶ 宗谷管内町村議会議員研修会 (豊富町)
- 5月21日 ▶ 第2回幌延町議会臨時会
- 5月21日 ▶ 第4回全員協議会
- 6月6日 ▶ 第2回議会運営委員会
- 6月6日 ▶ 第3回まちづくり常任委員会
- 6月6日 ▶ 第5回全員協議会
- 6月6日 ▶ 第2回情報推進常任委員会
- 6月6日 ▶ 第37回議会報編集委員会
- 6月11日 ▶ 第38回議会報編集委員会
- 6月18日 ▶ 第3回幌延町議会定例会
- 6月18日 ▶ 第4回まちづくり常任委員会
- 7月3日~4日 ▶ 全道町村議会議員研修会 (札幌市)
- 8月6日 ▶ 第39回議会報編集委員会
- 8月13日 ▶ 第40回議会報編集委員会

～幌延町表彰条例に基づく表彰について～
顕彰者4名を表彰しました

【幌延町民等顕彰】

他の模範となる善行または努力をした個人または団体を顕彰し、町民の誇りと自信を高めるとともに、町民の豊かな心と実践力を育むことを目的としています。

被顕彰者	功 績
小西出 範和氏	平成30年4月24日に発生した開進地区における火災の際、消火活動に協力され、その行いが他の模範となると認められました。
市橋 一敬氏	
菅野 康浩氏	
本田 優人氏	



(写真左から本田氏、市橋氏、野々村町長)
 ※小西出氏、菅野氏は、所用により欠席

皆さまの身近に、顕彰の要件を満たす方がいる場合は、ご推薦をお願いします。

お問い合わせ先：総務財政課 総務グループ 電話：5-1111 告知端末機：5-8811

診療所だより

診療所長：田川 豊秋



9月病

記録的な（毎年聞く気もしますが）猛暑となった夏も終わり、いきなり秋がやって来ました。今年は道北でも30℃を超える真夏日も記録し、熱中症の患者さんも多かったように思います。これからの時期は「9月病」にも注意が必要になります。

「9月病？、5月病なら聞いたことがあるけど」と思われるかも知れません。5月病は新年度の緊張状態がゴールデンウィークを過ぎた頃に緩んで起きると考えられています。9月病も同様に夏休み明けの時期にみられるのですが、主に精神的な不調を訴える5月病と違うのは、身体的な体調の悪さを伴ってくる点です。夏の猛暑を乗り切るために肉体は酷使されます。秋になるとこの肉体は、気温の低下や台風などの気圧変化に対応しなければならなくなります。

また、日照時間によって調節されている睡眠や脳の休息をつかさどるホルモン異常も起こります。これらが重なり、シルバーウィーク（まだ馴染めませんが）が終わる9月末には倦怠感や気力低下でぐったり・・・となってしまいます。

9月病に対処するには、まず生活習慣をしっかりと見直すことが必要となります。秋の夜長に夜更かしをせず、食欲の秋でもバランスに気を配り、スポーツの秋にしっかりと体を動かす。環境が変化する時期だからこそ、夏に消耗した心と体のケアを行って、もうすぐやってくる長い冬に備えましょう。

田川所長の医療漫談 DVD『無料貸出』について

町立診療所では、田川所長による医療漫談をDVD化し、9月から希望者へ無料で貸し出しを行います。普段お仕事や用事等で医療漫談に来られない方、もう一度医療漫談を見たい方など、この機会にぜひご利用ください。

【貸出場所】

- ・幌延町生涯学習センター
- ・問寒別生涯学習センター

【貸し出しについて】

- ・返却期限は借りた日から1週間です。
- ・DVDを破損、紛失した場合は町立診療所までご連絡ください。
- ・貸出可能枚数は、おひとりさま1回につき1枚までです。

【DVDの詳細】

- ・各事業所へ各題名ごとに1枚ずつご用意しています。
- ・医療漫談の1週間後にDVD化し、貸出DVDに追加します。

【現在貸出可能なDVD】

- ・4月 『頭痛』
- ・5月 『腹痛』
- ・6月 『がん』
- ・7月 『心臓病』



お問い合わせ先：町立診療所 電話・告知端末機：5-1221

平成30年度

エネルギー関連施設見学会

児童・生徒の部

8月1日(水)～8月3日(金)

8月1日(水)から8月3日(金)にかけて、エネルギー関連施設見学会を行い、33名の小中学生が参加しました。

1日目は、ゆめ地創館を見学しながら、幌延深地層研究センターで行われている深地層研究の内容について学んだほか、360度カメラの映像を使ったバーチャル地下施設見学体験により、坑道の様子や深地層研究の内容について学びました。

2日目は、東海村の核燃料サイクル工学研究所や、つくば市の地質標本館、サイエンススクエアなどを見学しました。核燃料サイクル工学研究所では、実際の研究に使用している電子顕微鏡により岩石の構造を見たり、原子構造模型を見ながらガラス固化体に使われるガラスの特性について学んだりしました。また、地質標本館では、子どもたちは世界各国から採掘された化石や鉱物に目を輝かせ、時折質問をするなど、真剣に学んでいました。

見学中は、非常に気温が高く、道北地域では体験することのできない暑さを経験することとなりましたが、体調を崩すことなく最後までしっかりと学んでいました。今後も、今回の見学会の経験を活かし、幌延町で行われている深地層研究やエネルギーに関する知識を深めて欲しいと思います。





まちの話題



7月28日
7月29日

プロバレーボールチーム 「ヴォレアス北海道」 合宿事業

幌延町バレーボール協会主催のプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」合宿事業として、合宿期間中に総合体育館で各種イベントが行われました。

28日は、小中学生を対象とした選手によるバレーボール教室や、インストラクターによるキッズダンス教室が開催され、その後「ヴォレアス北海道」と「岡崎建設オウルズ」の親善試合が行われました。町内外問わず多くの観客が集まり、白熱した試合に会場は熱気に包まれていました。

29日は、選手と町民対抗のミニバレーボール大会が行われ、参加者は気持ちのよい汗を流しました。



7月25日

遠藤芽衣さんが 宗谷管内学校教育活動等表彰 「北の輝き」を受賞

問寒別中学校の遠藤 芽衣さんが、宗谷管内学校教育活動等表彰「北の輝き」を受賞し、7月25日に宗谷教育局長から表彰状が手渡されました。

遠藤さんは、第42回全国児童・生徒木工工作コンクールにおいて、自身の木工作品が応募総数25,220作品の中から、中学生の部 損保ジャパン日本興亜賞を受賞した功績が認められました。



7月29日

寸劇で詐欺予防 普及啓発

成年後見制度等について学んできた市民後見人養成研修修了生が、7月29日に明生会老人クラブで「訪問販売トラブル」「還付金詐欺」について寸劇を行いました。

トラブルに巻き込まれないようにイメージを持ってもらおうと、修了生が台本や小道具等から準備をし取り組み、アドリブあり、笑いありの熱演を披露しました。寸劇の後には交流会を行いました。



7月28日

ふるさと自然体験チャレンジ教室 「カヌー体験」

ほろのべ朝活プロジェクトの一環として、三日月湖でふるさと自然体験チャレンジ教室「カヌー体験」が行われました。

当日は絶好のカヌー日和で、参加した子どもたちは漕ぎ方を教わった後、タイムを競いました。



7月29日

7月30日



問寒別神社祭

今年も問寒別神社祭が行われ、29日の宵宮祭では地域の方々による手作りの出店が並び、井上観光大使のライブパフォーマンスや大抽選会などで大盛況となりました。30日は本祭神輿渡御に続き、親子ソーランやよさこいソーラン、サロベツ太鼓が披露されました。



8月5日



本とあそぼう「全国訪問おはなし隊」が幌延町を訪問

8月5日に、講談社による本とあそぼう「全国訪問おはなし隊」が幌延町を訪れました。

キャラバンカーにたくさんの絵本や児童書を積んで全国を回るおはなし隊は、この日午前幌延町生涯学習センターで、午後問寒別生涯学習センターでキャラバンカー見学とおはなし会を行いました。

子どもたちは、車いっばいに詰め込まれた絵本や児童書を読んだり、センター内でおはなし隊による絵本と紙芝居の読み聞かせを熱心に聞いていました。



8月4日

8月5日



幌延・秘境駅サイクリングツアー「チャリ・デ・秘境駅」

ほろのべ・エコモビリティを考える会主催の幌延・秘境駅サイクリングツアー「チャリ・デ・秘境駅」が開催されました。

4日は、道内外からの参加者たちが、糠南などの秘境駅を途中下車し、自転車で駅周辺や幌延ビジターセンターなどを回ったり、10kmを超えるオロロンラインを走行するなど、普通列車と自転車のフィールドイブントを楽しみました。

5日は、前日のイベントを踏まえたワークショップが行われた後、7年半自転車世界一周 旅行作家・石田ゆうすけ氏をお招きして「地球を走って見えたもの～世界一周疑似体験スライドショー～」と題した講演会が行われ、石田氏のドラマチックな体験談に、来場者は惹きつけられていました。





7月19日 日曜日



幌延深地層調査研究計画 平成29年度 成果報告会



幌延深地層研究センターによる平成29年度調査研究成果について、7月19日に幌延町へ、8月8日に地域住民へ報告会が行われました。

国際交流施設で開催された地域住民への報告会では、地層科学研究や地層処分研究開発の成果、地下施設の維持管理、環境モニタリングの結果、安全確保の取り組みなどの報告の後、さまざまな視点から質疑応答が行われました。



8月8日 水曜日



子ども会 七夕まつり 交通安全パレード&花火大会



子ども会育成連絡協議会が主催する七夕まつり交通安全パレードと花火大会が行われました。

各町内会の子ども会が役場庁舎前駐車場に集まり、思い思いに飾り付けを施した山車を引きながら、音楽に合わせて交通安全を呼び掛け幌延市街をパレードしました。

パレード終了後には、共進会場で花火大会が行われ、夜空に上がった花火を楽しんでいました。



8月7日 日曜日

8月18日 日曜日



問寒別地区盆踊り大会



問寒別町民会館前の広場で地域の人たちが盆踊りを楽しみました。会場では、子ども盆踊りや仮装盆踊りのほか、メッセージ花火の打ち上げやじゃんけん大会など各種ゲームも行われ、参加者たちは過ぎゆく夏を楽しんでいました。



8月9日 日曜日



第48回幌延町乳牛共進会



共進会場で幌延町乳牛共進会が開催されました。未經産の部19頭、経産の部20頭の手塩にかけて育てられた乳牛が出陳されました。

▶ 未經産の部



▶ 経産の部



8月11日

8月12日



第48回ほろのべ名林公園まつり&秘境駅フェスタ

第48回目となるほろのべ名林公園まつりが、今年は秘境駅フェスタと合同で開催されました。開催期間中は、名林公園まつり恒例の催し物のほかに、秘境駅フェスタの催し物として秘境駅バスツアーや南田 裕介さんの秘境駅トークショー、秘境駅コーナーなどが用意されました。

初日の11日は、日中は音楽演奏や抽選会が行われたほか、幌加内町とのコラボ企画「合鴨蕎麦」が販売され、夜はじゅんいちダビッドソンのお笑いや門倉有希さんの歌謡、井上仁志観光大使と幌加内そばの里大使 上杉周大さんのステージショーが行われました。

2日目の12日は、日中は怪盗戦隊ルパンレンジャー VS警察戦隊パトレンジャーのキャラクターショー、ぷりんせす♥たいむのライブとファイターズガールのダンスやスイカ割り、南田裕介さんによる秘境駅トーク、杜このみさんの歌謡が会場を盛り上げ、夕方からは子供仮装盆踊り大会やじゃんけん大会、幌延ど真ん中踊りが行われ、最後に大人仮装盆踊り大会でイベントを締めくくりました。



▲オープニング



▲イエマンジャーによる演奏



▲幌延中学校吹奏楽部による演奏

▲幌加内町とのコラボ
合鴨蕎麦販売

▲抽選会



▲幸運のティッシュをつかむんじゃ～

ステージショー (11日)



▲会場の様子



▲幌延町観光大使 井上 仁志

ステージショー (12日)



▲杜 このみ



▲ファイターズガール
(今年はスイカ割るんじゃ～)



▲怪盗戦隊ルパンレンジャー
VS警察戦隊パトレンジャー

秘境駅バスツアー



▲南田 裕介といく 糠南駅 (12日)



▲出店の様子



▲豪華景品争奪じゃんけん大会開催じゃ～



◀ 幌延と真ん中踊り



◀ 子供盆踊り・仮装盆踊り大会



◀ 大人盆踊り・
仮装盆踊り大会



公証週間のお知らせ

10月1日(月)から10月7日(日)までは公証週間です。

公証人は、公証役場において遺言や大切な契約などの公正証書の作成、会社を設立する際の定款の認証などを行っています。

公証人は、法務大臣によって任命される公務員です。

「遺言は公正証書で!」

公正証書遺言は、自筆遺言証書のように裁判所での検認は必要ありませんし、原本は公証役場で保存していますので、偽造・変造や紛失の心配もありません。

また、公証人が自宅や病院へ出向いて遺言書を作成することもできます。

公証制度の詳細については、公証役場または法務局にお問い合わせください。

また、日本公証人連合会のホームページにおいても、公証制度を紹介していますので、ご利用ください。

【お問い合わせ先】

旭川公証人合同役場 電話：0166-23-0098

(旭川市6条通8丁目37番地22)

名寄公証役場 電話：01654-3-3131

(名寄市西1条南9丁目35)

旭川地方法務局 電話：0166-38-1144

(旭川市宮前1条3丁目3番15号)

「借金・金融一般相談会」 の開催について

北海道財務局の専門の相談員が「借金の悩み」を親身になってお聴きし、あなたに合った解決方法を提案します。また、「預金・融資、保険など金融全般」のご相談も受け付けます。無料・予約不要です。

【受付日時】

平成30年9月14日(金) 午前9時～午前11時30分

【会場】

宗谷総合振興局2階3号会議室

(稚内市末広4丁目2番27号)

【主催】

北海道財務局、旭川財務事務所

【共催】

宗谷総合振興局

【お問い合わせ先】

北海道財務局相談員直通

(午前9時～12時、午後1時～午後5時)

電話：011-807-5144 または011-807-5145

情報

インフォメーション

運転免許更新時 講習のお知らせ

初回更新者講習(2時間)

9月4日(火)10時から

天塩町社会福祉会館

優良運転者講習(30分)

9月4日(火)13時から

天塩町社会福祉会館

9月5日(水)18時30分から

消防署幌延支署2階

一般運転者講習(1時間)

9月4日(火)13時45分から

天塩町社会福祉会館

違反運転者講習(2時間)

9月4日(火)15時から

天塩町社会福祉会館

北海道における 動産差押強化月間について

道では、道税の滞納整理の促進を図るため、9月を「動産差押強化月間」と定め、集中的に滞納者の住居や事務所等の搜索を実施し、各種動産および自動車の差押えを実施します。

差し押さえた財産は、インターネット上で公売します。

**お忘れではありませんか?
まだ納めていない方は今すぐ納めましょう!**

【お問い合わせ先】

北海道総務部財政局税務課 納税促進グループ

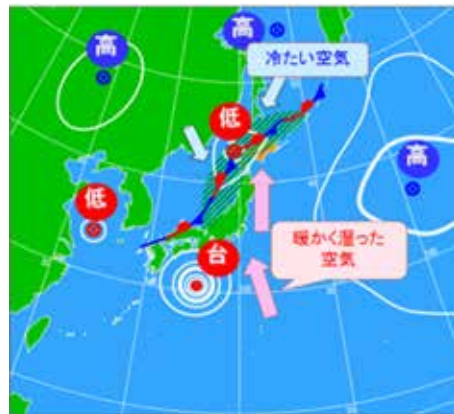
電話：011-204-5061 (ダイヤルイン)

台風+前線は大雨パターン

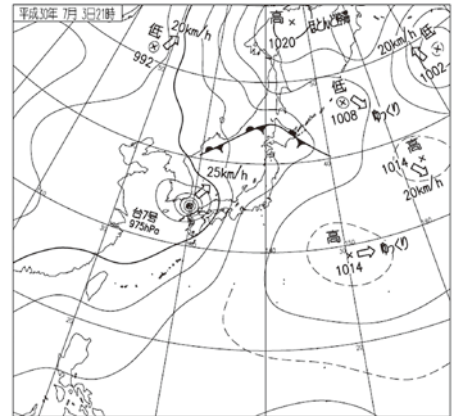
台風は7月から10月にかけて最も多く発生し、強い風や雨により大きな災害をもたらします。平成28年8月には、観測史上初めて3つの台風が次々北海道に上陸したほか、台風第10号の接近による大雨で甚大な被害が発生しています。また、北海道付近に前線が停滞しているところに南から台風が北上してくると、台風の周辺から水蒸気を大量に含んだ暖かく湿った空気が送り込まれて前線の活動が活発になり、前線による大雨とその後の台風本体による大雨が長時間続きます。今年7月初めには北海道付近に停滞する前線と台風第7号の影響により、上川・留萌・空知地方を中心に大きな被害が発生しました。

気象庁では3日先までの台風予報、その先も引き続き台風であると予想される場合には5日先までの台風の進路を発表しています。

台風進路予想の確認はもちろんのこと、北海道に前線が停滞している場合には、「台風+前線は大雨パターン」として捉え、気象台が発表する防災気象情報に注意しながら、大雨に備えた準備が必要です。



北海道で大雨となるとき天気図の例



平成30年7月3日21時の天気図

お問い合わせ先：稚内地方気象台（月～金曜日） 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.33

今年は日本各地で、低温・大雨・猛暑と異常気象と呼ばれる状況が続きました。それに比べると幌延は穏やかな天候ですね。

今年のノースガーデンのブルーピーポーは、昨年からの花壇担当の人たちの努力の甲斐あって、6月初旬から7月中旬までたくさんの花が咲き続けました。花に関する問い合わせにも、自信を持って観に来てく



ノースガーデンの花たち
(けしとデルフィニウム)



ださいと答えられるほどでした。7月からは、昨年来の雑草からの救出作戦が功を奏して、7月後半の一週間、昨年に続いてビジターセンター木道でのホタル観察会を行いました。今年は、7月までの長雨・低温のせいか、ホタルの出現時期は1週間ほど遅く、観察会初日には見ることができず、数日にわたって観察に来られた方もいらっしゃいました。期間中のホタルの観察数も例年に比べて少なく、



木道上のヘイケボタル

参加された方たちと一緒に、まるで宝探しをするようにホタルを探し、生息していることが確認できました。観察会終了後もしばらく観察を続けましたが、それほど数は増えていません。成虫の数が少ないと来年のホタルの出現が気になります。右の画像は吉原隊員が昼間木道散歩中に会ったホタルです。頭部の模様からヘイケボタルだと確認できます。

屋内に閉じこもっていても、自然のようす、幌延の良いところは、なかなか気付くことができません。皆さんも外に出て、まちを散歩しましょう。そして気付いたことがあったら、駅にある「ホロカル」までご連絡ください。

地域おこし協力隊 丸田

国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間のある方は、

国民年金保険料の追納をおすすめします!

●追納によって、受け取る年金を満額に近づけることができます。

老齢基礎年金の年金額を計算する際に、保険料の免除や猶予の承認を受けた期間がある場合は、保険料を全額納付した場合よりも、**受け取る年金の額が少なくなってしまう**。

しかし、免除等の承認を受けた期間の保険料を、**後から納付(追納)**することにより、**老齢基礎年金の年金額を満額に近づける**ことができます。

過去に**国民年金保険料の免除制度**や、**若年者納付猶予制度**等を利用されていた方については、将来受け取る年金を満額に近づけるためにも、追納を行っていただくことをおすすめします。

●追納を行う場合は、申し込みが必要です。

役場もしくは**最寄りの年金事務所**で申し込みを行っていただきます。その後、厚生労働大臣の承認を受けた上で納付書がお手元に届きますので、その納付書でお支払いしていただきます。**口座振替ならびにクレジット納付はできません**のでご注意ください。

●追納に関する注意事項

- ①…一部免除を受けた期間に**納付すべき保険料を納付していない場合と、老齢基礎年金を受けられる方は、追納できません**。
- ②…追納できるのは、**追納が承認された月の前10年以内の免除等期間**に限られています。
(例：平成30年9月分は平成40年9月末まで)
- ③…承認等をされた期間のうち、**原則古い期間からの納付**となります。
- ④…保険料の免除もしくは納付猶予を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降に保険料を追納する場合には、承認を受けた**当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乘せ**されますので、**お早めの追納をおすすめ**します。

なお、今年度中に追納していただく際の保険料は、以下のとおりです。

平成31年(2019年)3月31日までに追納する場合の保険料額

免除等年度	追納保険料額(月額)			
	全額免除 (納付猶予)	4分の3免除	半額免除	4分の1免除
平成20年度	15,170円	11,380円	7,580円	3,790円
平成21年度	15,260円	11,440円	7,630円	3,810円
平成22年度	15,520円	11,640円	7,760円	3,880円
平成23年度	15,310円	11,470円	7,650円	3,820円
平成24年度	15,160円	11,360円	7,580円	3,780円
平成25年度	15,130円	11,350円	7,570円	3,780円
平成26年度	15,280円	11,460円	7,640円	3,820円
平成27年度	15,610円	11,700円	7,800円	3,900円
平成28年度	16,260円	12,190円	8,130円	4,060円
平成29年度	16,490円	12,370円	8,240円	4,120円

お問い合わせ先：稚内年金事務所 電話：0162-32-1941

役場保健福祉課 戸籍福祉グループ 電話：5-1115(内線166)・告知端末機：5-8813

町民くらしのカレンダー 9月 (Sep)

注：保セ＝保健センター 子セ＝子育て支援センター
 問保＝問寒別へき地保育所 問セ＝問寒別生涯学習センター
 生セ＝幌延町生涯学習センター 国際＝国際交流施設
 総ス＝総合スポーツ公園 総体＝総合体育館

1 土	長寿まつり 11:00～(国際)	16 日	平成31年度 宗谷管内町村職員(初級・消防)採用資格試験(第1次試験) 8:30～(役場2階大会議室)
2 日	北星園祭 10:30～(北星園) ふるさと自然体験チャレンジ教室「酪農体験」	17 月	敬老の日
3 月		18 火	つばみひろば 10:30～11:30(子セ)
4 火	つばみひろば 10:30～11:30(子セ) ますます健康教室 14:00～(保セ)	19 水	めばえ・わかばひろば 10:30～11:30(子セ)
5 水	めばえ・わかばひろば 10:30～11:30(子セ) 子どもの集い「わくわくジャズコンサート」 開場 13:00～ 開演 13:30～(幌中体育館)	20 木	はつらつ教室 9:45～(保セ) 幌延町民プール(クローズ)
6 木	はつらつ教室 9:45～(保セ)	21 金	問寒別すきっぷくらぶ 10:00～11:00(問保) にこここ教室 9:30～(保セ)
7 金	【問寒別出張診療日】 明和会健康相談 11:00～(下沼寿の家) 絵本の読み聞かせ会 11:00～11:30(生セ図書室)	22 土	町民マラソン大会 開会式 9:20～(総ス)
8 土	ソフトエアロビクス教室 10:00～11:30(総体)	23 日	秋分の日 幌延町消防団秋季消防演習 14:00～ サイレン吹鳴 12:30(団員召集) 15:30(模擬火災)
9 日	問寒別地区町内会対抗ソフトボール大会 ※開催予定 10:00～(問小中グラウンド)	24 月	振替休日
10 月	出張ひろば 10:00～11:00(問保)	25 火	
11 火	2歳児健康相談 9:45～(保セ)	26 水	【心療内科・精神科診療日】 5歳児健康相談 13:15～(保セ) 軽体操運動 10:00～11:30(総体) 英会話教室 19:00～20:30(生セ)
12 水	【心療内科・精神科診療日】 問寒別にこここ教室 10:00～(問セ) 生きがい教室(町外研修予定)	27 木	もぐもぐ教室 10:00～(保セ)
13 木	キッズダンス教室/子ども運動教室(幌小体育館)	28 金	こども園すきっぷくらぶ 10:00～11:00(子セ)
14 金	すくすく健診 13:00～(保セ)	29 土	幌延町文化祭 13:00～19:00(国際)
15 土		30 日	幌延町文化祭 9:00～16:00(国際)

告知端末機「知らせますケン」の視聴についてのお願い!



告知端末機「知らせますケン」では、通常の行政情報だけでなく、緊急の避難警報など、皆さんにとって重要なお知らせ放送をすることがあります。
 電源は必ず入れて、1日1回は視聴するようお願いいたします。

★お悔み申し上げます
 岡久テル子さん(94歳) 栄町

☆ご結婚おめでとうございます
 橋 泰雅さん 1条北1
 齊藤 千恵さん

☆お誕生おめでとう
 鎌田 邑歩さん(父) 淳栄町

戸籍の窓

◇幌延町社会福祉協議会へ
 (香典返しの一部)
 岡久 春夫さん(母) 栄町

ご寄付ありがとうございます
 7月



開基120年記念特集

No.6

「北緯45度の大地に生きる動物たち」

撮影・文：富士元 寿彦氏

「大好物はヒシの実 オオヒシクイ」



9月に入るとベンケ沼に、オオヒシクイの群れが渡ってきます。渡来してまず食べる物は、名前の由来になっている大好物のヒシの実です。実だけではなく葉も食べ、大食漢なので沼の水面に繁茂しているヒシはすぐになくなります。次に主食になるのが、沼に近い下沼地区の牧草畑の草です。冬に備え、たらふく食べて皮下脂肪を蓄えた

オオヒシクイたちは、晩秋になると本州の越冬地へと向かい旅立ちます。

諸鳥のこもる大樹や日の盛り
菜園に日盛り避けし籠ひとつ
日の盛りへたばる自分情けなし
日盛りの知らずに出てる一人言
日の盛り鴉と黒い草ロール
森閑と町のありけり日の盛り

七月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

横山 貞雄
富樫 堅一
熊谷千恵子
佐藤 光朗
富樫とも子
田中 徹男



わが家のエンジェル



お喋り大好き、散歩大好きな男の子の大空です。最近はずりばいが出るようになり、部屋中を探検して遊んでいます。思いやりを忘れず元氣と笑顔がいつぱいに育つてね。

丸山 大空くらくん
平成29年12月26日生・米町
お母さん 春香さん

ほろのべの裏窓

8月には、幌延町の最大イベント「名林公園まつり」が行われました。今年も、恒例のステージショーや仮装盆踊りなど、昨年以上の盛り上がりとなりました。
毎年、名林公園まつりが終わるとともに、短い暑い夏も終わってしまい、一気に涼しくなります。体調を崩さないようにしっかりと管理することが大切です。
また、今年7月に発生した西日本豪雨では、北海道でも川の氾濫などにより大きな被害を受けました。幌延町では近年、大きな災害は発生していませんが、いづどこで起きるかわかりません。日頃の備えによって被害を減らすことができますので、いざというときに慌てることがないように、「自分ができること」「家族でできること」などについて考え、防災意識を高めましょう。
● 広報へのご意見、ご要望をお寄せください ●
総務財政課総務グループ
電話 5-11111 / 告知端末機 5-8811



まちのこぎ
(平成30年7月末日現在)
※()内は前月比

男	1,197	(-4)
女	1,157	(-6)
計	2,354	(-10)
世帯数	1,251	(-3)

平成30年9月 発行/天塩郡幌延町
企画・編集/総務財政課総務グループ
幌延町ホームページアドレス/ <http://www.town.horonobe.hokkaido.jp>

印刷/株式会社須田製版